第９回 日韓三女子大学交流合同シンポジウム参加発表申請書

韓国梨花女子大で開催される日韓３女子大学交流合同シンポジウムでの研究発表（口頭とポスターの両方）を希望します。参加するにあたり、「プレゼンテーション法研究」あるいは「英語アカデミック・プレゼンテーション」を履修します。また帰国後は期日までに、報告書（Ａ４紙２枚）を提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 学年  （いずれかに丸） | 学部　４年生  　博士前期課程　１年生・２年生  　博士後期課程　１年生・２年生・３年生 |
| 所属学科/専攻・コース/専攻・領域 |  |
| 研究室名  （主指導教員名） | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　先生） |
| 本学在学期間中に受けた国内外派遣支援の履歴（申請中を含む） | 書き方の例：（この記載は要旨作成字には削除すること）  ・若手研究者インターナショナル・トレーニングプログラム（２００９年度）  　ドイツブッパタール大学へ４ヶ月派遣  ・生命情報学を使いこなせる人材育成（２００８年度）  　国立遺伝学研究所で２週間インターンシップ |
| 国内外での研究発表履歴 |  |

次ページに発表タイトル（仮題で可、日本語でも可）と要旨（日本語でも可）を記載。採択された場合には、発表用の要旨（英語）を後日あらためて作成します。発表用要旨は、シンポジウム開催報告書の一部として利用します。

|  |  |
| --- | --- |
| **Title:**  **（仮題可**  **日本語可）** |  |
| **Abstract:**  **（日本語可）** | 注意事項：（この記載は要旨作成時には削除すること）  １）本シンポジウムは、分野横断的な研究発表会です。要旨作成にあたっては、その研究の面白さや重要性が他の分野の学生や教員にも伝わるかを考えながら工夫して書くこと。  ２）学会での研究発表とは趣旨が異なるので、過去に行った学会発表の要旨を活用する場合も、１）を考慮してよく改訂すること。  ３）適宜、図表を挿入しても構わない。 |